


 国際ロータリー第2840地区 2010～2011年度
受入学生 歓迎会 ・ 帰朝報告会 報告書

 青少年交換委員長 **峯岸 則幸**

日 時 : 2010年9月26日 AM 10:00 ~ PM 1:00

場 所 : 群馬ロイヤルホテル

目 的 : 受入交換学生のための歓迎会及び派遣交換学生帰国に伴い、慰労会並びに帰朝報告会

出席者 : 54名



委員長挨拶にて、アメリカからの受入学生4名に対しての歓迎と1年交換派遣学生に対しての慰労の言葉、そして福田ガバナーの挨拶では受入学生に対して歓迎の言葉と同時に質問をなされ、その質問に学生が答えると云う一場面もあり、なごやかな雰囲気となりました。そして帰国学生に対しては大変立派になりましたね、と一年間を振り返り、ねぎらいの言葉をかけられました。さらに、これからもこの経験を生かして頑張ってください。と慰労と激励をなされました。

受入学生によるスピーチでは一人一人、日本語での挨拶をし、大変驚きました。わずか一ヶ月の間で素晴らしい事と共にホストクラブとホストファミリー、そして、受入高校担任の先生方の熱心なご指導の賜物と感じました。又、一年後の彼等が想像出来、立派に親善大使としての役目を果たす事と感じました。



RID5100オレゴンからJoshua Pentecost



ROD7100ニューヨークからGalen Gibian



RID5950/5960ミネソタからTaber Tang



RID5650ネブラスカからAmber Jones

派遣学生の帰国に伴い、福田ガバナーより青少年交換参加認定書が授与され、学生達は大変感激をしていました。そして帰朝報告を夏期交換の野中美駒さん、そして富岡美咲さんと続けてスピーチ、最初は英語で、続いて自分で和訳のスピーチをしましたが大変立派なスピーチでした。両人共、出来たら一年交換にチャレンジしたいと目を輝かせていました。



続いて一年交換帰国学生の庭屋貴史君、矢端名結さん、布施川敦子さんと英語でのスピーチ、そして和訳のスピーチと時間オーバーの大変熱のこもった、そして、自信に満ちたスピーチでした。3人共、共通して青少年交換プログラムに参加させてくれたロータリークラブに感謝をし、これからはロータリークラブの為にROTEXとして色々な事に参加させていただき、お手伝いをしたいと話していました。



それから3人のファミリーの皆様からもロータリーの青少年交換プログラムについて、自分達の子供の成長と自信あふれた言動や行動を見て、参加以前と帰国後のこの変わり様にびっくりしています。それから、この素晴らしいプログラムに参加させていただいたロータリーに感謝をいたします。と、ご挨拶されていました。

懇親会に於いては、各テーブルにてホストファミリー・ホストクラブと学生を囲んで素晴らしい意見交換の場となりました。その中でも先輩ROTEXの正田美鳩さん(2007～2008年度・オレゴンへ派遣)

そして、2004～2005年度アメリカ・アイオワ州(RID6580)から当地区RID2840に派遣されたJohn Jounes君、彼は日本の、しかも、この群馬が大好きとなり、帰国後、大学で日本語を学び、再び群馬にやって来て、英語の教師となり桐生市に住んでいます。

彼もロータリーに感謝をしつつ何かお手伝いが出来ればと、申し出てくれました。今回の受入学生達にも良きアドバイザーとして、相談に応じてくれていました。今後共、宜しくお願いします。

ロータリーの青少年交換プログラムが世界中の若者を応援している事が少し分かったような気がします。又、委員会としても素晴らしい経験が出来たと思います。又、本日の受入学生歓迎会、そして、一年交換・夏期交換・帰国に対する慰労会が成功裏に終わった事をご報告申し上げます。